

マイクロプラスチック調査実施結果

【女木港海岸調査】日時：2022年10月8日（土）9:30～12:00 参加者数：10名

10月8日（土曜日）10名の県民が参加して、高松市女木港海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の参加型調査として、観音寺市有明海岸、高松市鎌野漁港海岸でも行いました。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。風に飛ばされて海岸の上部にマイクロプラスチックが溜まりやすい場所がありましたので、そこから採取をしました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取る方法で行いました。参加者は、砂浜で見つけた色々な小さなプラスチックがどこから流れてきているのか関心を持っていました。

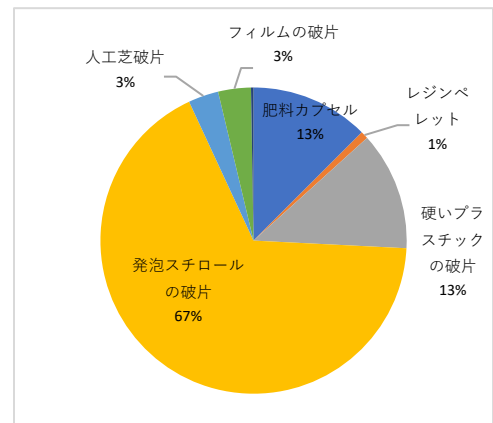
このサンプルを調べるためには、乾燥させる時間を必要とするため、事前に採取と乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「発泡スチロールは大きいうちに拾えばよいと思いました」「きれいに見える砂浜でも、とても小さなプラスチックがあるのに驚きました」などの感想がありました。



調査場所



女木港海岸のマイクロプラスチック 2mm～5mm以下のプラスチック(採取日:2022.10.8 個数確認日:2022.10.10)

項目	肥料カプセル	レジンペレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	47個	3個	47個	253個	12個	13個	1個



マイクロプラスチック採取方法説明



海岸のマイクロプラスチック探し



サンプル採取の様子



サンプル採集の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について

マイクロプラスチック調査実施結果

【有明海岸調査】日時：2022年10月10日（祝・月）9:30～12:00 参加者数：14名

10月10日（祝・月曜日）14名の県民が参加して観音寺市有明海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の調査として、高松市女木港海岸、高松市鎌野漁港海岸でも行いました。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。満潮ラインあたりに漂着物が溜まっていたので、その周辺からサンプルを採取しました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取る方法で行いました。サンプル採取の時は、風速8mを越える強風であったため、発泡スチロールなど軽いマイクロプラスチックは風で飛ばされてしまい、全体の個数も少なくなると考えられます。

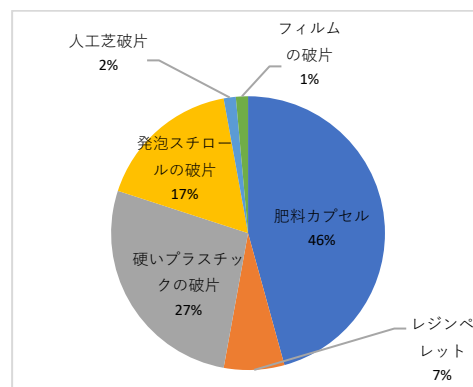
このサンプルを調べるためには、乾燥させる時間を必要とするため、事前に採取と乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「発泡スチロールが多くてビックリした」「小さくなると拾うのが大変」などの感想がありました。



調査場所



有明海岸のマイクロプラスチック割合

有明海岸のマイクロプラスチック 2mm～5mm以下のプラスチック(採取日：2022.10.10 個数確認日：2022.10.15)

項目	肥料カプセル	レジンペレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	32個	5個	19個	12個	1個	1個	0個



マイクロプラスチック採取方法の説明



サンプル採取の様子



サンプル採取の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について

マイクロプラスチック調査実施結果

【鎌野漁港海岸調査】 日時：2022年10月15日（土）13:00～15:30 参加者数：11名

10月15日（土曜日）11名の県民が参加して高松市鎌野漁港海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の調査として、高松市女木港海岸、観音寺市有明海岸でも行いました。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。満潮ラインより少し上部に漂着物の溜まっている場所があり、その周辺からサンプルを採取しました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取る方法で行いました。

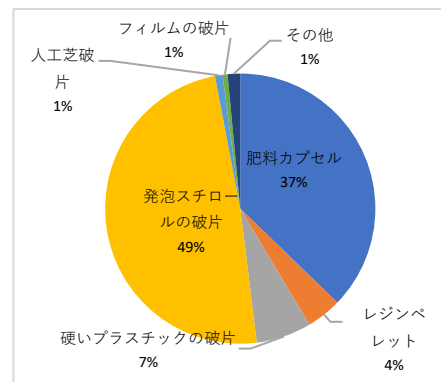
このサンプルを調べるためには、乾燥させるのに時間を必要とするため、事前に乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「マイクロプラスチックを初めて知りました。これだけ小さくても様々な影響や問題になっていることで意識が変わりました」などの感想がありました。



調査場所



鎌野漁港海岸のマイクロプラスチック割合

鎌野漁港海岸のマイクロプラスチック 2mm～5mm以下のプラスチック(採取日：2022.10.15 個数確認日：2022.10.16)

項目	肥料カプセル	レジンペレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	124個	14個	22個	163個	3個	2個	5個



マイクロプラスチック採取方法の説明



サンプル採取の様子



サンプル採取の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について